

平成 26 年度若手研究者ワークショップ(ブラジル) 実施報告書

平成 27 年 4 月 17 日

1. ワークショップ名

(和文) 植物多様性の保全に向けた遺伝学的应用(英文) Contribution of Genetics to Plant Conservationワークショップトピックに関するホームページ <http://fapesp-jspms.mangroves.info/>

2. ワークショップの目的

生物多様性と環境の保全は、21 世紀における最もグローバルな問題の一つであり、とりわけ、一次生産者として地球上の全ての生命に恩恵を与える植物の保全は、重要な問題である。そこで、このワークショップでは、日本およびブラジルの研究者が蓄積してきた、植物保全遺伝学に関する知識と技術を共有し、両国の若手研究者による研究ネットワークを形成して、次世代のグローバル問題に対応できるチーム形成を目指す。日本とブラジルから各国約 20 名ずつ集まった若手研究者が、6 人の経験豊富な両国の研究者の指導の下で研究交流を行い、知識や意見や経験を共有・交換し、生物多様性と環境の保全に関する重要問題について話し合い、解決方法を模索する。ここで作られた両国の若手研究者ネットワークは、今後、国際協力の下で対応すべき問題解決において、核となることが期待できる。

3. 開催期間 平成 27 年 2 月 2 日 ~ 平成 27 年 2 月 4 日 3 日間4. 開催地(会場) サンパウロ大学遺伝学科 Luiz de Queiroz College of Agriculture

5. 開催体制

(1) 実施機関

日本側	独立行政法人日本学術振興会(JSPS)
	国立大学法人千葉大学
ブラジル側	サンパウロ州立研究財団(FAPESP)
	São Paulo Agency for Agribusiness Technology

(2) 開催責任者

1) 日本側

コーディネーター

所属機関・部局・職・氏名 千葉大学大学院・理学研究科・准教授・梶田 忠

機関所在地 〒 263-8522 千葉県稲毛区弥生町 1-33

TEL 043-290-2818

FAX 043-290-2874

Email tkaji@faculty.chiba-u.jp

事務担当者

部局・職・氏名 学術国際部国際企画課・主任・本澤充宏

機関所在地 〒 263-8522 千葉県稲毛区弥生町 1-33

TEL 043-290-2231

FAX 043-290-2041

Email bfi2231@office.chiba-u.jp

2) ブラジル側

コーディネーター

所属機関・部局・職・氏名 São Paulo Agency for Agribusiness Technology・Scientific Researcher・Zucchi, Maria Imaculada

機関所在地 Rodovia SP 127, km 30, Vila Fátima, 13400970 – Piracicaba, SP – Brasil – Caixa-postal: 28

TEL +55 - 19 - 34215196

FAX

Email mizucchi@apta.sp.gov.br

6. 参加者

(1) メンター

日本側

氏名	所属機関・部局	職名	専門
高山 浩司	東京大学・総合研究博物館	特任助教	植物系統進化学
井鷲 裕司	京都大学大学院・農学研究科	教授	保全遺伝学
陶山 佳久	東北大学大学院・農学研究科	准教授	森林分子生態学

ブラジル側

Santin Brancalion, Pedro Henrique	University of São Paulo・ Department of Genetics Luiz de Queiroz College of Agriculture	Professor	森林再生・保全生物学
Evandro Marsola de Moraes	Federal University of São Carlos・Department of Biology	Adjunct Professor	集団遺伝学、進化生物学
Clarisse Palma da Silva	São Paulo State University・ Institute of Bioscience, Rio Claro	Researcher level III	集団遺伝学・分子生態学

(2)参加者数

	メンター数	参加者数	その他参加者数 ^[注]	合計
日本側参加者数	3	18	2	23
ブラジル側参加者数	3	25	3	31
その他の国からの参加者数	0	0	1	1
合計	6	43	6	55

[注]本事業で経費を負担しない参加者については、「その他参加者数」にてカウントしてください。

(3)参加者リスト 様式 3-1 及び 3-2 にて最終版を提出してください。

(4)参加者の選出方法

1. 選抜方針：本ワークショップを通して、積極的に議論を行うことで参加研究者とアイデアを共有し、共通の問題解決に向けて研究ネットワークを構築し、植物多様性保全における普遍的問題解決のために国際的に活躍しようとする意欲のある若手研究者を選抜した。
2. 選抜基準：以下の3点を満たすことを条件とした
 - ① 他国の研究者とアイデアを共有してネットワークを構築することの、必要性和熱意。
 - ② 講演、ポスターセッション、グループディスカッションを通して参加者と意見交換できる英語能力。
 - ③ ワークショップの成果を今後の自身の研究に生かすのに十分な研究能力
3. 選抜方法：2014年11月に、本事業のウェブページ(<http://fapesp-jsps.mangroves.info>)を作成・公開した。また、関連学会のニュースレターとウェブページ、メーリングリストなどで、事業内容と応募についてのアナウンスを開始し、応募を受け付けた。コーディネータ及びメンターからの推薦を受け付けた。
4. 選抜方法：上記ウェブページ応募フォームを作成し、インターネット経由で提出させた。各国それぞれで、コーディネータ及びメンターの合議審査により、参加者を決定した。

7. 委託事業の内容

(1)運営体制・方法について

- ・ 委託業務にかかる事務手続きは、千葉大学国際企画課および理学研究科経営係が担当した。実施に際して専門知識が必要な業務（ウェブページ作成、Google Apps ページ編集、英文議事録作成等）は、事務作業補佐員が担当した。
- ・ 参加研究者の公募は事業ウェブページ (<http://fapesp-jsps.mangroves.info>) を介して行った。
- ・ 参加研究者の選考はコーディネータとメンターが、応募内容に基づいて行った。
- ・ 参加研究者との連絡は、コーディネータおよびサブコーディネータ（高山）が行った。
- ・ ワークショッププログラムの編成・編集は、コーディネータ・メンターの全員で行った。
- ・ ワークショップにおいては、参加者間の情報共有、文書や画像のやりとりに、コーディネータが管理する Google Apps for Education (mangroves.info) を利用した。

(2)日程、議題(別添で可)

- ・ ワークショップ：2015年2月2日～4日
 - 2日、3日： 基調講演、レクチャー、ポスターフラッシュ、ポスター発表、口頭発表
 - 4日： グループディスカッションおよびネットワーク形成、エクスカージョン
- ・ ウェルカムレセプション：2月1日夕刻、 ワークショップレセプション：2月3日夕刻
- ・ 見学 (half day excursion)：Iracemapolis Water Reservoir における森林再生事業
- ・ 以上の内容詳細と議題は別添のワークショッププログラム（英文）の通り。

8. 本事業で得られた成果

(1) 学術的な観点からの成果

植物を含む生物多様性の保全は、人類にとって重要なグローバル課題の一つであり、ブラジルと日本は、いずれも、生物多様性保全の取組における、国際的な枠組み作りに大きく貢献してきた（1992年のリオ・生物多様性サミット、2010年のCOP10など）。また、ブラジルと日本はいずれも、地球上における生物多様性のホットスポットを有しており、いずれの国でも、生物多様性保全の研究が盛んに行われてきた。しかし、両国はそれぞれ地球の反対側に位置し、また、植生帯や生育する生物相も全く異なっていることもあり、これまで、生物多様性研究分野において、国際的な共同研究が頻繁に行われてきたとは言えない状況にある。

本事業の最大の学術的成果は、バックグラウンドの全く異なる2つの国の若手研究者が、3日間のワークショップ体験を通して、自身の研究分野におけるアイデアを共有しあうことにあった。ブラジル・日本のそれぞれの国からの参加者は、お互いの国内の研究動向や情勢は十分に理解していたが、相手国の情勢については、ほとんど全くと言って良いほど、事前知識は無かった。そのため、本ワークショップで発表された研究内容、手法、アイデアの多くは、相手国の研究者に多くの驚きと新たな学問的理解をもたらした。このようにして、参加者の間で形成された、学術的コンセンサスは、グローバルスケールでの研究展開や、今後の新たな共同研究をもたらすものである。

(2) 国際交流及び若手研究者養成の観点からの成果

国際交流の観点からの成果

- ・本ワークショップを通して、日本とブラジルの若手研究者の間で、新たな研究交流を多数生み出すことができた。また、その他参加者として参加した、マレーシア、アメリカ、メキシコの研究者と共に、新たな研究ネットワーク構築の可能性が広がった。
- ・最終日のグループディスカッションの成果として、今後の、JSPS 二国間共同研究・セミナーや、FAPESP の外国人研究者招へい事業など、日本側研究者とブラジル側研究者の緊密な研究連携のもとに研究ネットワークを拡充するための計画が検討された。実現に向けて、すでに準備を始めている。
- ・日本人若手研究者で、ブラジルの野生生物を対象とした研究を計画していた参加者は、今回のワークショップを通して、現地調査・サンプル入手を実現できる見通しが立った。今後、ブラジル側研究者を通して、国家科学技術開発審議会（CNPq）に許可申請を提出する等、研究の発展が見込まれる。

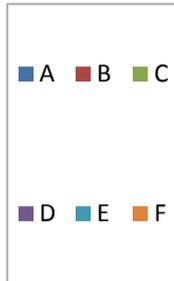
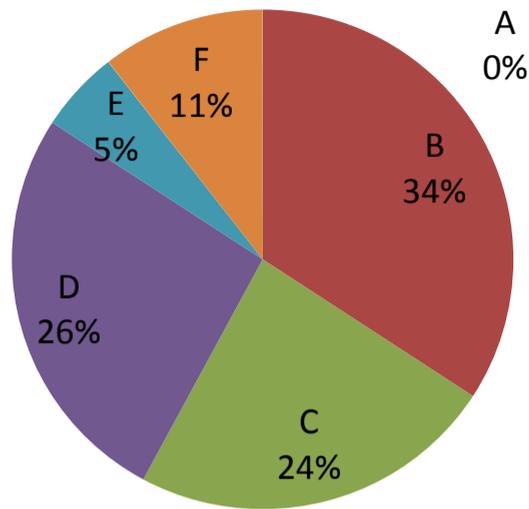
若手研究者養成の観点からの成果

- ・本ワークショップにより、ブラジルと日本という、地理的に遠く離れた二国間の若手研究者が、国際的な研究ネットワークを構築することを手助けができた。両国の若手研究者養成に大きく貢献できた。
- ・3日間のワークショップを通して、ブラジルと日本のお互いの研究内容や、研究レベルを理解することができた。また、両国の研究者が協力すれば、さらに研究を発展させられる可能性も、数多く示唆された。また、若手研究者がそれぞれの相手国の受入研究者の下で、研究を実施するための具体的な方策（助成金の獲得など）を検討することができた。

Workshop participant's answers to the evaluation questionnaire.

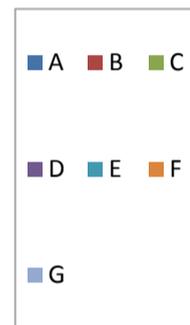
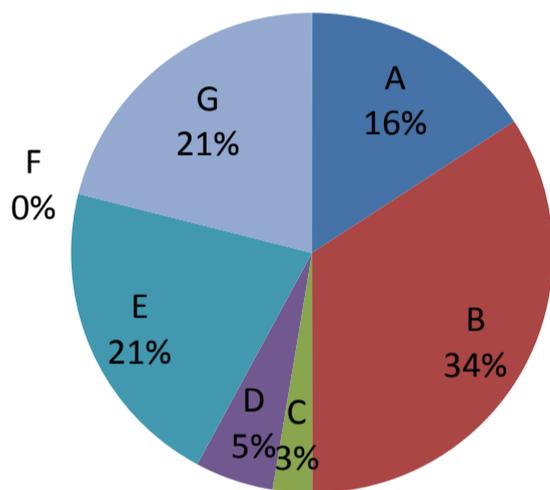
Part. 3

Age



	人数	割合
A	0	0%
B	13	34%
C	9	24%
D	10	26%
E	2	5%
F	4	11%

Title



	職位	割合
A	6	16%
B	13	34%
C	1	3%
D	2	5%
E	8	21%
F	0	0%
G	8	21%

G : Professor(1),Associate professor(2),assistant professor(2),Scientific research(1),Master student(2)

Research Field

Biodiversity conservation
Phylogeny and Phylogeography
Community phylogenetics
Mycorrhizal symbiosis
evolutionary biology, phylogeny, biogeography
Conservation Genetics and Genomics
Evolutionary biology
Plant phylogeny and biogeography
Asia and the Pacific resions
population genetics and genomics
Atlantic Rainforest Plant Diversity
Population genetics
Genetics and Evolution
Evolutionary Genetics
Conservation genetics, phylogenetics, phylogeography, plant systematics
Taxonomy
Evolutionary Biology
Taxonomy, Phylogeny, Conservation genetics
forest population genetics
Conservation genetics
phylogeography
Forest ecology
Morphological evolution
Conservation Genetics
population genetics, evolution
Botany
Population Genetics and Phylogeography
Ecological genetics and breeding

平成26年度若手研究者ワークショップ 参加者リスト

平成27年2月4日

ワークショップ名：植物多様性の保全に向けた遺伝学の応用

1. 日本側参加者リスト

No	姓	名	所属機関・部局	職名	所属国名 ¹⁾	備考 ²⁾
1	兼子	伸吾	福島大学共生システム理工学類	准教授	日本	*
2	阪口	翔太	東京大学大学院・総合文化研究科	日本学術振興会特別研究員(PD)	日本	*
3	阿部	晴恵	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	助教	日本	*
4	岩崎	貴也	京都大学・生態学研究センター	日本学術振興会特別研究員(PD)	日本	*
5	赤坂	宗光	東京農工大学大学院 農学研究科/The University of Queensland	講師	日本	*
6	池田	啓	岡山大学資源植物科学研究科	助教	日本	*
7	奥山	雄大	国立科学博物館植物研究部	研究員	日本	*
8	辻田	有紀	佐賀大学農学部	准教授	日本	*
9	津田	吉晃	千葉大学大学院理学研究科	特任研究員	日本	*
10	渡辺	洋一	東京大学大学院・総合文化研究科	日本学術振興会特別研究員(PD)	日本	*
11	柿嶋	聡	静岡大学・創造科学技術大学院	日本学術振興会特別研究員(PD)	日本	*
12	手塚	あゆみ	九州工業大学・若手研究者フロンティアアカデミー	研究職員	日本	*
13	厚井	聡	大阪市立大学大学院・理学研究科	講師	日本	*
14	須貝	杏子	森林総合研究所・野生動物研究領域	特別研究員	日本	*
15	伊藤	優	東京大学総合研究博物館	博物館事業協力者	日本	*
16	小栗	恵美子	広島大学大学院・理学研究科	特任助教	日本	*
17	遠山	弘法	九州大学理学研究院生物科学部門	学術研究員	日本	*
18	田金	秀一郎	九州大学理学研究院生物科学部門	学術研究員	日本	*
19	Gutierrez Ortega	Jose Said	千葉大学大学院理学研究科	大学院生	日本	
20	山本	崇	千葉大学大学院理学研究科	大学院生	日本	
21	Wee	Kim Shan, Alison	西双版纳熱帯植物園	ポスドク	中国	
22	梶田	忠	千葉大学大学院理学研究科	准教授	日本	*
23	高山	浩司	東京大学総合研究博物館	特任助教	日本	*
24	井鷲	裕司	京都大学大学院農学研究科	教授	日本	*

25	陶山	佳久	東北大学大学院農学研究 科	准教授	日本	*
----	----	----	------------------	-----	----	---

1) 参加者が所属する機関の所在国を記入してください

2) 本ワークショップ経費にて参加される方については、備考欄に「*」を記入してください。

List of Participants for JSPS-FAPESP Joint Research Workshop 2014

Date: 04/02/2015

Workshop Title: Contribution of Genetics to Plant Conservation

2. List of participants on the Brazilian side

No	Family Name	Name	Affiliation	Job Title	Country ¹⁾	Note ²⁾
1	Silva	Gislaine	Department of Biology, Federal University of São Carlos	Post Doc	Brazil	*
2	Alves-Pereira	Alessandro	Department of Genetics, Luiz de Queiroz College of Agriculture, University of São Paulo	PhD candidate	Brazil	*
3	Novello	Mariana	Center of Molecular Biology and Genetic Engineering, State University of Campinas	PhD candidate	Brazil	*
4	Gomes Viana	João Paulo	Center of Molecular Biology and Genetic Engineering, State University of Campinas	PhD candidate	Brazil	*
5	Silvestre	Ellida	Center of Molecular Biology and Genetic Engineering, State University of Campinas	PhD candidate	Brazil	*
6	Mori	Gustavo	Center of Molecular Biology and Genetic Engineering, State University of Campinas	Post Doc	Brazil	*
7	Vargas Cruz	Mariana	Center of Molecular Biology and Genetic Engineering, State University of Campinas	PhD candidate	Brazil	*
8	Konzen	Enéas Ricardo	Center of Nuclear Energy in Agriculture, University of São Paulo	PhD candidate	Brazil	*
9	S. Bonatelli	Isabel	Department of Biology, Federal University of São Carlos	PhD candidate	Brazil	*
10	Perez	Manolo	Department of Biology, Federal University of São Carlos	PhD candidate	Brazil	*

No	Family Name	Name	Affiliation	Job Title	Country ¹⁾	Note ²⁾
11	Faria Franco	Fernando	Department of Biology, Federal University of São Carlos	Professor	Brazil	*
12	Belini	Camila	Graduate School of Horticulture, São Paulo State University	PhD candidate	Brazil	*
13	Brisibe	Andi	Chemical, Biological and Agricultural Pluridisciplinary Research Center, University of Campinas	Professor	Brazil	*
14	Coffani-Nunes	João Vicente	Agronomy Course, Sao Paulo State University	Professor	Brazil	*
15	Leles	Bruno	Institute of Bioscience, Rio Claro, São Paulo State University	PhD candidate	Brazil	*
16	B. F. Arruda	Ana Carolina	Methodist University of Piracicaba	Undergradu ate student	Brazil	*
17	Grando	Carolina	Center of Molecular Biology and Genetic Engineering, State University of Campinas	PhD candidate	Brazil	*
18	Pavinato	Vitor Antonio	Center of Molecular Biology and Genetic Engineering, State University of Campinas	Post Doc	Brazil	*
19	Dias Schwarcz	Kaiser	Center of Molecular Biology and Genetic Engineering, State University of Campinas	Post Doc	Brazil	*
20	Lourenço Garcia de Brito	Vinicius	Department of Botany, State University of Campinas	Post Doc	Brazil	*
21	Conson	André Ricardo	Center of Molecular Biology and Genetic Engineering, State University of Campinas	PhD candidate	Brazil	*
22	Romero	María Victoria	Department of Botany, State University of Campinas	Post Doc	Brazil	*

No	Family Name	Name	Affiliation	Job Title	Country ¹⁾	Note ²⁾
23	Olinda Tacuatiá	Luana	Department of Botany, State University of Campinas	Post Doc	Brazil	*
24	Etoze do Valle	Giuliana	Agronomic Institute of Campinas	Post Doc	Brazil	*
25	H. S. Brancalion	Pedro	Department of Genetics, Luiz de Queiroz College of Agriculture, University of São Paulo	Professor	Brazil	*
26	Marsola Moraes	Evandro	Department of Biology, Federal University of São Carlos	Adjunct Professor	Brazil	*
27	Palma-Silva	Clarisse	Institute of Bioscience, Rio Claro, São Paulo State University (Brazil)	Researcher level III	Brazil	*
28	Robin	Chazdon	Department of Ecology and Evolutionary Biology, University of Connecticut (USA)	Visiting professor at ESALQ	Brazil	*
29	Zucchi	Maria Imaculada	São Paulo Agency for Agribusiness Technology	Scientific researcher	Brazil	
30	Herklotz	André	Sinapse Biotecnologia	Sponsor company	Brazil	
31	Massucato	Rafaela	Sinapse Biotecnologia	Sponsor company	Brazil	
32	Tomomitsu	Armando	Sinapse Biotecnologia	Sponsor company	Brazil	

¹⁾ Please write a country of affiliated institution.

²⁾ Please put "*" in this section when FAPESP/JSPS pays his/her expenses.

Contribution of Genetics to Plant Conservation

Brazil - Japan International Workshop 2015

Department of Genetics, Luiz de Queiroz College of Agriculture, University of São Paulo,
Piracicaba, SP, Brazil

Coordination

Tadashi Kajita
(Chiba University)

Maria Imaculada Zucchi
(Agência Paulista de Tecnologia dos Agronegócios
Pólo regional Centro Sul)



Institutional support:



Sponsors





Welcome Message

It is our great pleasure to welcome you to the 'Contribution of Genetics to Plant Conservation' Brazil-Japan International Workshop. The event will be held in Piracicaba, at the beautiful Luiz de Queiroz College of Agriculture (ESALQ - University of São Paulo) campus, from 2 to 4 February, 2015.

The workshop, broadly themed “Biodiversity and Environmental Conservation”, will gather young and leading researchers, from São Paulo - Brazil and Japan, whose interests embrace the conservation of plant species. The organizing committee and the workshop coordinators' main objective is to provide a pleasant and fruitful environment that promotes the development of future successful collaboration networks that use genetic information as an important and relevant tool to conserve plant biodiversity. We organized the event considering the exchange of ideas, knowledge and experiences as the foundation to accomplish this goal.

Aside from the scientific program, which includes key-note lectures, young researchers talks, discussion groups and short oral presentation and a poster session, we have also prepared a social program to enhance the interaction among researchers. Moreover, we have planned a field trip to a riparian forest planted between 1987 and 1992, in Iracemápolis, São Paulo state, to generate new ideas and encourage the discussion on how genetics may support, for instance, restoration efforts.

We seize this opportunity to thank the Japan Society for the Promotion of Science (JSPS) and the São Paulo Research Foundation (FAPESP) which made this workshop possible, and to state that this event celebrates “The 120th Anniversary of Diplomatic Relations between Japan and Brazil” for which our workshop is admitted as one of commemorative events. Moreover the Japan-Brazil friendship is represented in the workshop logo by joining side-by-side both countries iconic trees, *Prunus × yedoensis* (染井吉野, Cherry-blossom) and *Handroanthus albus* (Ipê-amarelo).

Welcome to the 'Contribution of Genetics to Plant Conservation' workshop we wish you an enjoyable event that benefits all young and established researchers from São Paulo and Japan.

Gustavo Mori, Tadashi Kajita and Maria Imaculada Zucchi.



Contribution of Genetics to Plant Conservation

Brazil - Japan International Workshop 2015

Program

February 2nd - Monday

Departamento de Genética, ESALQ, USP

SESSION 1: Opening session

- 9:10 Opening remarks and presentation of the Workshop topics by Dr. Maria Zucchi (coordinator), and introduction of Brazilian and Japanese mentors (by both coordinators).
- 9:40 Keynote lecture by Prof. Maria Imaculada Zucchi (coordinator): Conservation biology of Atlantic Forest tree species: a genetical approach to Forest restorations
- 10:10 Key note lecture by Dr. Tadashi Kajita (coordinator) : Need for international research network for plant conservation: a case for conservation genetics of mangroves.
- 10:40 Tadashi Kajita: Introduction of Google Apps to share information
- 10:50 Coffee break

SESSION 2: Conservation of Endangered Plants

- 11:10 Key note lecture by Prof. Yuji Isagi (mentor): Conservation of biodiversity based on information obtained by Ubiquitous Genotyping
- 11:40 Key note lecture by Dr. Pedro Henrique Santin Brancalion (mentor): The role of forest restoration for conserving plant genetic diversity in human-modified landscapes
- 12:10 Lunch break

SESSION 3: Conservation of Threatened Vegetation

- 13:40 Key note lecture by a Dr. Evandro Marsola (mentor): Evolutionary history and conservation genetics of Cactaceae.
- 14:10 Key note lecture by Dr. Koji Takayama (mentor): Population genetic structure and migration history of the mangrove genus *Rhizophora* and its implication for conservation
- 14:40 Key note lecture by Dr. Robin Chazdon (Invited speaker): Animal-mediated seed dispersal and population genetic structure of a canopy palm species during secondary forest succession in Costa Rica

SESSION 4: Poster Flush Every young researcher will have chance to present their research project.

- 15:05 Every lecture is scheduled for 4 minutes only (without questions/discussion) using at most 4 slides. The chairperson rings the bell at the end of the 4th minute and the speaker should leave the stage immediately.

Institutional support:



Sponsors





Contribution of Genetics to Plant Conservation

Brazil - Japan International Workshop 2015

Program

February 3rd - Tuesday

Departamento de Genética, ESALQ, USP

SESSION 5: Oral presentations (15 min each, including questions)

- 9:00 **Mariana Vargas Cruz**- Evolution of *Avicennia schaueriana* in face of historical and current climate changes: functional genomics and ecophysiology.
- 9:15 **Munemitsu Akasaka** - A novel reasoning for prioritizing small-range species in protected area design: mid-domain effect and a positive feedback of under representation and accelerating local extinction rate in non-conserved areas
- 9:30 **Alessandro Alves-Pereira** - Tracing the dispersal of sweet and bitter manioc in Brazilian Amazonia with chloroplast SSRs
- 9:45 **Yudai Okuyama** - Ultra-high resolution phylogeny using RAD-seq reads and its impact on conservation genetics
- 10:00 **Isabel Bonatelli** - Genetic structure in naturally fragmented distributed species of Brazilian dry biomes and conservation implications
- 10:15 Coffee Break
- 10:35 **Shota Sakaguchi** - Plant demographic responses to past environmental changes: a new insight into glacial landscapes of Australia inferred from genetic analysis of conifer populations heterogeneity
- 10:50 **Fernando Franco** - Phylogeny of *Cereus* sp. (Cereeae, Cactaceae): first results and future prospects
- 11:05 **Yoshiaki Tsuda** - How much uncertainty do we have? It may be fancy but it may also be uncertain: How wary should we be of our data analyses?
- 11:20 **Bruno Leles** - Evolutionary patterns of single nucleotide variants in Orchidaceae plastid genomes
- 11:35 **Hajime Ikeda** - Phylogeographic insight into footprints of natural selection and new perspective of conservation genetics
- 11:50 Lunch Break

SESSION 6: Conservation Genomics and Genetics

- 13:30 Key note lecture by Dr. Yoshihisa Suyama (mentor): Development of a novel method for conservation genetics with next-generation sequencing: Multiplexed ISSR (inter-simple sequence repeat) Genotyping by sequencing (MIG-seq)
- 14:00 Key note lecture by Dr. Clarisse Palma da Silva (mentor): Speciation and phylogeography of Bromeliads adapted to Neotropical rock outcrops
- 14:30 Technical talk - Sinapse an Inovative Multibrand Supplier for the Brazillian Market. Quest for a Balanced Portfolio offer.



SESSION 7: Poster Session

- 14:45 All participants can have a poster to present according to the guidelines.
- 18:00 **Workshop Reception**

Institutional support:



Sponsors





Contribution of Genetics to Plant Conservation

Brazil - Japan International Workshop 2015

Program

February 4th - Wednesday

Departamento de Genética, ESALQ, USP

SESSION 8: Group Discussion and Network Formation

9:00 **1st period:** Coordinators would make discussion groups for this period until this morning according to the area of research and activities to participate in Google Apps. For each group one coordinator or mentor will join to promote the discussion, acting as a facilitator. The first topics that will be discussed within the groups is **"What are the prioritized issues of Plant Conservation in which Brazil and Japan should work together?"** and **"What are the effective working groups (e.g. expected field of members) to tackle with the issues?"** One representative each group will make a short report to reflect their activities in the group discussion.

9:50 **2nd Period:** List up all the issues raised by groups, and discuss about the **priorities**. Choose three or more issues from the list and make tentative working groups. Participants choose which working groups they want to belong, and discuss about **"What are the active plans of the working groups and their roadmaps toward the final goal (achievement) in the next three years?"** Discussion will be continued while in the following excursion.

10:30 Coffee Break

SESSION 8: Excursion

10:50 A half-day excursion and technical visit to the Iracemápolis Water Reservoir where, since 1988, a forest restoration has been carried out by the Laboratory of Ecology and Forest Restoration (LERF-ESALQ-USP). Lunch will take place in a local restaurant. . There will be a discussion panel. Participants can further discuss according to the working group they belong, or with other participants throughout the event. All participants would be returned to the workshop venue until 15:00.

SESSION 9: Report from Working Groups

15:00 A representative from each working group (we may have three or more) will have a short report (about 15 min) from their group discussion. Further discussion may be promoted in this session. We will share all the ideas discussed here by Moodle, and further discussion, or communication within/among working groups are facilitated.

SESSION 10: Closing session with awarding best papers/presentations.

17:00 Awarding two presenters selected by discussion among coordinators and mentors.

17:30 Closing remarks by Tadashi Kajita (coordinator) including the introduction for further grant supports from JSPS with instruction for effective preparation of grant proposals.

Institutional support:

Sponsors





Poster program
February 3rd – Tuesday: 14:45 – 17:30
Departamento de Genética, ESALQ, USP

- | No. | Title / Authors |
|-----|--|
| P01 | Tracing the dispersal of sweet and bitter manioc in Brazilian Amazonia with chloroplast SSRs
Alessandro Alves-Pereira; Charles R. Clement; Gabriel Dequigiovanni; Santiago L.F. Ramos; Elizabeth Ann Veasey; José Baldin Pinheiro; Maria Imaculada Zucchi |
| P02 | Evolutionary patterns of single nucleotide variants in Orchidaceae plastid genomes
Bruno Leles; Violeta Perini; Rondon Neto; Carolina Furtado; Clarisse Palma-Silva; Francisco Prosdocimi |
| P03 | Estimates of genetic parameters for essential oil yield of three natural populations of <i>Baccharis dracunculifolia</i> DC.
Camila Moreira Batista Belini; Marcia Ortiz Mayo Marques; Glyn Mara Figueira |
| P04 | No tilte
Carolina Grandó |
| P05 | Genetic structure of <i>Myroxylon peruiferum</i> L.f. (Fabaceae), a species used in forest restoration in the Atlantic Rainforest, Brazil
Ellida de Aguiar Silvestre; Kaiser Dias Schwarcz; João Paulo Gomes Viana; Caroline Grandó; José Baldin Pinheiro; Gustavo Maruyama Mori; Pedro Henrique Santin Brancalion; Maria Imaculada Zucchi |
| P06 | Prospects for an association study of <i>DREB</i> gene nucleotide polymorphisms and drought tolerance traits in wild common bean accessions
Enéas Ricardo Konzen; Jorge Carlos Berny; Andrea Ariani; Siu Mui Tsai; Paul Gepts |
| P07 | Phylogeny of <i>Cereus</i> sp. (Cereeae, Cactaceae): first results and future prospects
Fernando Faria Franco; Gislaine Angélica Rodrigues Silva; Evandro Marsola Moraes |
| P08 | Population and functional genomics on the evolutionary study of neotropical mangrove species in face of historical and current climate changes
Gustavo Maruyama Mori; Mariana Vargas Cruz; Stephanie Karenina Bajay; Anete Pereira Souza; Maria Imaculada Zucchi |
| P09 | Genetic structure in naturally fragmented distributed species of Brazilian dry biomes and conservation implications
Isabel Aparecida da Silva Bonatelli Bonatelli; Evandro Marsola Moraes |
| P10 | Conservation genetics of <i>Casearia sylvestris</i> (Swartz) in remnants of the Atlantic Forest and restored areas
João Paulo Gomes Viana; Marcos Vinicius Bohrer Monteiro Siqueira; Carolina Grandó; Ellida de Aguiar Silvestre; Mariana Novello; José Baldin Pinheiro; Gustavo Maruyama Mori; Maria Imaculada Zucchi |



- P11 **Diversity and conservation of Atlantic Rain Forest in Vale do Ribeira, State of São Paulo, Brazil**
João Vicente Coffani-Nunes; Patrícia Gleydes Morgante
- P12 **Next-Generation multiloci phylogeographic structure in the *Pilosocereus aurisetus* (Cactaceae) species complex**
Manolo F. Perez; Evandro M. Moraes
- P13 **Genômica da conservação em copaíba em diferentes formações vegetacionais da região centro-oeste do estado de São Paulo**
Marcos Vinicius Bohrer Monteiro Siqueira
- P14 **Genomics and conservation genetics of populations of juçara (*Euterpe edulis Martius*) aiming management**
Mariana Novello; Pedro Henrique Santin Brancalion; Maria Imaculada Zucchi
- P15 **Evolution of *Avicennia schaueriana* in face of historical and current climate changes: functional genomics and ecophysiology**
Mariana Vargas Cruz; Gustavo Maruyama Mori; Stephanie Bajay; Anete Pereira Souza
- P16 **Genetic differentiation and phylogeography of partially sympatric species complex *Rhizophora mucronata* Lam. and *R. stylosa* Griff. using SSR markers**
Alison K. S. Wee; Koji Takayama; Jasher L. Chua; Takeshi Asakawa; Sankararamasubramanian H. Meenakshisundaram; Onrizal; Bayu Adjie; Erwin Riyanto Ardli; Sarawood Sungkaew; Norhaslinda Binti Malekal; Nguyen Xuan Tung; Severino G. Salmo III; Orlex Baylen Yllano; M. Nazre Saleh; Khin Khin Soe; Yoichi Tateishi; Yasuyuki Watano; Shigeyuki Baba; Edward L. Webb; Tadashi Kajita
- P17 **Types of selection for duplicated genes are affected by functions of the gene in *Arabidopsis halleri***
Ayumi Tezuka; Shinichi Morinaga; Yutaka Suzuki; Sumio Kanno; Atsushi J. Nagano; Motomi Ito; Kousuke Hanada
- P18 **The origin of dioecy in the genus *Wikstroemia* (Thymelaeaceae), growing in the oceanic islands**
Emiko Oguri; Clifford W. Morden; Noriaki Murakami
- P19 **Biochemical basis of adaptive evolution to photoperiod of plants photoreceptor**
Hajime Ikeda; Lovisa Gustafsson; Christian Brochmann; Akira Nagatani; Hiroaki Setoguchi
- P20 **Did the reverse colonization based on multiple collisions of the proto-Izu Islands produce a biodiversity hotspot region in Japan?**
Harue Abe; Kuriyama Takeo; Matthew C. Brandley; Masami Hasegawa
- P21 **Effects of logging and recruitment on community phylogenetic structure in 32 permanent forest plots of Kampong Thom, Cambodia**
Hironoti Toyama



- P22 **Phylogeography reflects main historical clade divergence on the cycad genus *Dioon* (Zamiaceae): conservation implications**
José Said Gutiérrez-Ortega; Tadashi Kajita; Yoshiaki Tsuda; Andrew Vovides; Miguel Ángel Pérez-Farrera; Francisco Molina-Freaner
- P23 **Spatial genetic structure of *Elaeocarpus photiniifolia* (Elaeocarpaceae) associated with habitat variation in the Bonin (Ogasawara) Islands, Japan**
Kyoko Sugai; Suzuki Setsuko; Teruyoshi Nagamitsu; Noriaki Murakami; Hidetoshi Kato; Hiroshi Yoshimaru
- P24 **Can we forego collecting large-range species for spatial prioritization?**
Munemitsu Akasaka; Richard Fuller; Taku Kadoya; Taku Fujita
- P25 **Evolutionary study of a 6-year periodical mass flowering plant in Japan and Taiwan**
Satoshi Kakishima; Jin Yoshimura; Jin Murata
- P26 **Evolution of root morphology in Podostemaceae**
Satoshi Koi; Ryoko Imaichi; Masahiro Kato
- P27 **Ubiquitous genotyping in conservation genetics, a case study of a critically endangered shrub, *Stachyurus macrocarpus* var. *prunifolius* (Stachyuraceae) in the Ogasawara Islands, Japan**
Shingo Kaneko; Tetsuto Abe; Yuji Isagi
- P28 **What factors promoted lineage divergence of East Asian temperate tree? Testing respective roles of climate change, seaways barrier and topographic heterogeneity**
Shota Sakaguchi; Ying-Xiong Qiu; Yi-hui Liu; Xin-Shuai Qi; Sea-Hyun Kim; Jingyu Han; Yayoi Takeuchi; James R. P. Worth; Michimasa Yamasaki; Shogo Sakurai; Yuji Isagi
- P29 **Plant diversity observations using a standardized-transect method in Southeast Asia**
Tagane Shuichiro; Yahara Tetsukazu
- P30 **Phylogenetic study of sea-dispersal species: *Vigna marina* (Luguminosae)**
Takashi Yamamoto; Koji Takayama; Reiko Nagashima; Yoichi Tateishi; Tadashi Kajita
- P31 **Comparative phylogeography of Japanese deciduous broad-leaved forests using geographic information system tools**
Takaya Iwasaki
- P32 **Contrasting evolutionary history between the continent and continental islands during the Quaternary: a case of diversification in three leaved azaleas (*Rhododendron* section *Brachycalyx*) in East Asia**
Yoichi Watanabe; Xiao-Feng Jin; Ching-I Peng; Ichiro Tamaki; Nobuhiro Tomaru
- P33 **Multi species genetic structure and demographic inference within *Betula* across Eurasia**
Yoshiaki Tsuda; Giovanni Giuseppe Vendramin; Vladimir Semerikov; Martin Lascoux



- P34 **Phylogeny and systematics of the cosmopolitan aquatic genus *Ruppia* (Ruppiaceae): implication for conservation**
Yu Ito; Tetsuo Ohi-Toma; Jin Murata; Norio Tanaka
- P35 **Unveiling genetic basis of diversification in floral scents driven by plant-pollinator interactions**
Yudai Okuyama; Tomoko Okamoto; Kunihiro Uno; Mio Akashi
- P36 **Shifts in mycorrhizal fungi during the evolution of autotrophy to mycoheterotrophy in *Cymbidium* (Orchidaceae)**
Ogura-Tsujita Yuki; Yokoyama Jun; Miyoshi Kazumitsu; Yukawa Tomohisa
- P37 **Global legume diversity assessment: A case study for Asian species of *Dalbergia* (Fabaceae)**
Mohammad Vatanparast; Fumiko Ishihama; Niels Raes; Munemitsu Akasaka; Frits Adem; Toby R. Pennington; Tetsukazu Yahara; Tadashi Kajita

NOTICE:

- If the last digit of the Poster Number is an **EVEN** number, the Presenting Author will attend the poster during **14:45 – 15:30**.
- If the last digit of the Poster Number is an **ODD** number, the Presenting Author will attend the poster during **15:30 – 16:15**.

